

（「広報うつのみや」（昭和25年4月1日発行）の中から、昭和を感じさせる懐かしい記事をご紹介します。）



昭和の記憶

～あんトキの記事から～



市民長距離競走大会

（広報うつのみや昭和50年11月15日号）

長距離競走の技術向上と愛好者を増やすために、第8回市民長距離競走大会を次のように開きます。昨年の大会には、オープン参加の中学生や69歳の方を含めて約300人が参加しました。今年も多数の参加をお待ちします。

期日 12月14日（日）午前9時陽西中に集合、午前10時スタート。雨天でも行います。

コース 陽西中—新里街道—畑中折り返し、往復16km。ただし、中学は往復4km、高校・一般は全コース、壮年（40歳以上）は往復6kmの個人レース。

その他 この大会で優秀な成績をあげた選手を、第17回栃木県郡市対抗駅伝の宇都宮市代表として推薦します。

（一〇メモ）「市民長距離競走大会」は、昭和44年2月に第1回が開催され、参加者は28人でした。昭和55年には国体で整備された県総合運動公園内のコースで行われ、大会名も「市民マラソン大会」と変更されました。市制90周年を迎えた昭和61年から、現在の「宇都宮マラソン大会」になりました。